

広報

2008.1.1
(平成20年)
No.43

うねだ

UEDA

特集 地域とともに、仲間とともに



迎春



上田城跡公園野球場で行われた映画「最後の早慶戦」の口ケ。20年夏公開予定。

新年を迎えて

力強く前進する年に

明けましておめでとございませう。輝かしい新春を迎え、市民の皆様のご多幸とご健康を心からお祈りいたしますとともに、上田市政にお寄せいただいておりますご支援ご協力に対し、厚く御礼を申し上げます。

新生上田市が平成18年3月に誕生して以来、今年で早3年目を迎えることとなりました。

昨年を振り返りますと、観光をリーディング産業として、市の特色を生かした様々なイベントが実施され、多くの観光客をお迎えすることができ、ようやく観光都市上田の足がかりを築くことができたように思います。今後も、「観光地づくりは地域づくり」を信念に、様々な交流をきっかけとして、広く上田市を全国に知っていただくことにより、にぎわいと交流が生まれる、魅力ある観光地「上田づくり」を進めてまいります。

また、昨年は市民と行政が協働でまちづくりを進めていく指針で

ある、第一次上田市総合計画が策定されました。その中で、上田市の将来像を「日本のまん中 人がまん中 生活快適都市」とし、基本理念を「自立と協働」「循環と交流」「創造と調和」としており、平成20年度をスタートとして、生活者起点に立ったまちづくりを引き続き推進してまいります。

その中の一つとして、住民のより近いところで意思決定ができる仕組みとして、地域内分権を一層推進してまいります。現在の地域自治センター機能を生かし、地域協議会の役割が発揮された予算編成を行い、地域振興事業基金の活用を柱とした地域予算の導入を図ります。

また、教育の面では、昨年、小中一貫した教育体制の整備を進めるにあたり、構造改革特別区域を活用した「菅平小中一貫教育特区」の認定をいただき、地域独自の小中学校9年間のカリキュラムを平成20年度から実施する予定であります。

本年は、総合計画の初年度となりますが、資源循環型施設の建設問題や中心市街地の活性化、さらに産科医不足、そして教育・福祉・生活などの課題についても大切な

勇気・決断・迅速な行動をもつて、課題解決に向けて全力で取り組んでまいります。

局面を迎えており、勇気・決断・迅速な行動をもつて、課題解決に向けて全力で取り組んでまいります。いと決意を新たにしております。

最後に、私の信条とする、人生の本舞台は常に将来にあり」の言葉どおり、これまでの人生は序盤であります。今あるチャンスを生かし、これからの未来ある上田市の本舞台となることを信じ、市民が誇れるような「上田新時代」を創るべく、市民の皆様とともに、力強く前進する年にしたいと考えております。今後とも皆様の市政への一層のお力添えをお願いいたします。

上田市長 伊藤 一



新生「上田市」が誕生した約1か月後の平成18年4月4日、4地域の消防団を統合し、県下で2番目に多い団員数の「新上田市消防団」が結成されました。平成19年11月30日現在の団員数は2,363名。1月20日、2回目の出初式を迎えます。



特集 地域とともに、 仲間とともに

CONTENTS 目次

- 2 新年を迎えて
- 4 特集 地域とともに、仲間とともに
- 8 全国学力・学習状況調査の結果
- 11 教育ボランティア ほか
- 12 今月の表紙
情報あ・ら・かると(お知らせ)
- 12 (催し)
- 14 (講座・教室)
- 17 (募集)
- 19 ミュージカル「真田幸村」
- 20 ホット・ボイス
うえだ見聞録
- 21 キラリ 輝くこどもたち!
- 22 四つ葉スケッチ
- 24 四喜折々

新市の消防団の姿

合併後の消防団

「合併して一本化するのには、指揮命令系統をしっかりとするため。この大所帯を取りまとめるのは、本当に容易ではないんです。平等にすると一言でいってもいろいろなものが見つから、それは大変でしたよ」と、矢島康夫消防団長はいます。

上田市消防団は、1本部、8方面隊、32個分団、ラッパ隊、音楽隊、救護班、女性消防隊ペナテス、バイク隊を組織。分団は、上田地域は上田第1〜20分団の17個分団(4・9・11は統合で欠番)。丸子地域は、丸子第1〜6分団の6個分団、真田地域は18年4月4日に10個分団が統合再編し、菅平・長・傍陽・本原の4個分団、武石地域は武石第1〜5分団の5個分団でそれぞれの地域を担当する大消防団です。

「合併したんだ」という意識の中で、早

急にいるいろいろなものをそろえる必要がある。というのは、タイムリーである必要があるからということ」と矢島団長。団員の気持ちを一つにして前へ進むこと、士気を高めることは、消防の特性上大事であることに違いありません。まだまだ、やるべきことはたくさんあるようです。

「われわれ消防団は、自らの地域は、自らが守るといふ郷土愛護の理念と、地域住民の皆さんの生命、身体、財産をあらゆる災害から守るといふ、崇高な使命をもって結成されています」。



新上田市初代消防団長の矢島康夫(やじま・やすお)さん。

多くのメリット

「各地に埋もれていた人材が、合併により発掘されたというところ大げさかもしれませんが、個々の力を発揮しはじめているのではないかと思うんです。人がたくさんいるということは、すごいことですよね。また、分団運営費を旧上田市消防団と同じ交付金制度に統一したことで、分団独自の活動を団員が自ら考え実現する達成感を感じることに、消防団活動を楽しんでいると思ってくれる団員が多いと感じています」。

顔の見える消防団へ

地域での活動を報告する分団だよりは、各分団が切磋琢磨する原動力の一つとなっています。それぞれの分団だよりを通し、自分たちの分団以外の活動を知ることができるからです。



「分団だよりも、珍しい取り組みなんです。それぞれ仕事を持つての年に3・4回ほどの発行は、締め切りに追われ、想像以上に大変なもの。でも、皆さんの息子が載ってたよ」と、楽しみにしてくれている地域の皆さんの声を聞くとうれしいんです。もうすぐ100号を発行する歴史ある分団もあります。広報を担当する和田道明副団長は、そういつて各分団だよりを見せてくれました。発行する本来の目的である顔の見える消防団は、いざ

消防活動を楽しいと 思ってくれる団員が多い。

という時のためにも大事なことです。分団だよりは地域と分団をつなぐ大切な広報紙です。

「ポスターも作りました。本当に個人的で、中にはシロウトが作ったとは思えないものもあります。人材とはまさにこのことだと思わせます。1月13日から20日まで、海野町会館で分団ポスター展が開かれます」。

いざという時の消防団ですが、いざという時(災害など)は当然

然なほうがいいわけですが、しかし、経験がないと現場では動けないもの。団員確保と、長期的に活動してくれる団員の育成は永遠の課題です。

「消防署ができ、消防団員を減らしていた時代もあったんですよ」と話す矢島さん。地域防災の力ナメといわれる消防団は現在、団員数が大幅に減少傾向にあり、その要因が地域によって違うといいました。「消防団員には、適齢があります。人口の多い中心部は、団員の定員が少ないのに入団していただけない現実があります。また周辺部では現実に適齢の若者が少なくなってきたという、いわゆる限界集落の現象を感じさせる所も



分団だよりは地域と分団をつなぐ大切な広報紙です。通巻100号を数える分団だよりも。

あります」。「団員あつての消防団ですから、とにかく活躍できるステージを見つけて入ってほしいですね。健康な人、音楽が好きの人、バイクが好きの人、地域を愛する人、募集しています」。

また昨今は、サラリーマンが全体の85・27%を占めています(平成19年10月1日現在)。この現象は全国的なものです。平日の昼間の対応が大変です。

上田市消防団団員数の推移

年	団員数	備考
平成14年	2,587名	旧4市町村合計
平成15年	2,569名	
平成16年	2,528名	
平成17年	2,401名	
平成18年	2,427名	新上田市
平成19年	2,352名	

(各年4月現在)

ポスターを持つ副団長の和田道明(わだ・みちあき)さん。



これからの消防団

地域の協力は不可欠

12月7日、上田市として第1号となる消防団協力事業所表示証の交付式がありました。交付事業所となる三葉農研(上田・山口)には、交付対象条件である二人の分団員が勤務しています。が、今回は従業員一人が坂城町の団員であることから、上田市と坂城町の連名表示となりました。第12分団に所属するの山崎靖義(やまざき じやうぎ)さんは、昔の仲間と違った形で会いながら、地域のために活動できて楽しい」と言います。勤務時間中の「いざ出動!」という時など、勤務する事業所の理解があることは、団員活動の後ろ盾にもなります。

「一人以上の団員がいることなど交付対象条件があるものの、事業所としても社会貢献を果たしているという評価が信頼性を向上させ、また、県の事

女性の力を消防に

業税の減免対象にもなるという利点もあるこの制度をぜひ使ってほしいですね。またこれを機に事業主さんは、自分の会社に消防団員が何人いるのか知っていたら、更なる拡充と使いやすい制度への改正も期待します」と、出席した矢島団長は話します。

母袋市長も、地域の防災力の一層の充実強化にもつながる」とマスコミを通じ、第2号、第3号と続くよう呼びかけました。



笑顔の小林直美(こばやし・なおみ)さん(写真・左)と妹の清美(きよみ)さん。

昨年6月、第5分団に入団した花岡美咲さんは、上田幼稚園で体育を専門に教える先生。東京の大学を卒業し、子どもが好きで選んだ職場の配属先が上田でした。

実家の駒ヶ根に里帰りした時、地元消防団の大会を見て、たくさんの女

性団員に大変驚いたそうです。さらに知り合いの活躍に感動し、上田に帰ってくると自ら入団を申し込みました。

職場に入団を報告した時は内心、なんて言われるだろう」と心配していましたが、園長先生も職場の先生方もはじめから応援してくれたそうです。

「職場も分団も理解してくれるから、無理のない程度に続けられるんです。朝の訓練は大変だけど、一緒にやっているという充実感がいいですね。地域とかかわりの持てる活動であることも魅力です」。最近、第5分団にはもう一人、女性団員が加入しました。

姉妹で団員に

平成5年1月に結成された女性消防隊「ペナテス」。一般公募により命名されたペナテスとは、ローマ神話に登

場する神で「家庭の守護神」という意味があります。このペナテス隊を含めた女性団員は、71人。近隣では多いほうかもしれませんが、全国的にはまだ少ないほうです。

小林直美さんは平成19年2月、清美さんは3か月後の5月に入隊し、姉妹で消防団員となりました。

「妹が友だちの入団をきっかけに、生き生きと楽しそうに活動しているのを見て私も入りました。年は四つ違いですが、こうやって同じことに夢中になるのは、学生の時からかもしれませんね」とさわやか笑顔で話す姉の直美さん。

おそろいの制服に身をつつみ、顔を見合わせながら、たくさん地域の皆さんに出会えることが何よりうれしいです。でも、入団して間もないから地元の人には私たちが入団したことを知らないかも。もっと私たちの活動を知ってもらいたいし、私たちも地域の人たちをもっと知ること、身近な存在になりたいですね」と清美さんはいいます。

AEDの取り扱い講習など、専門分野の体験をたくさん積んで、いざという時に頼れる消防団員を目指したいと前向きな姿勢の二人でした。

就職しても上田で

長野大学社会福祉学部4年の蒲生俊宣さんは、3年前に丸子消防音楽隊に大学の先輩に誘われ参加。旧丸子町は大学生の団員登録が認められていな



子どもたちに囲まれる花岡美咲(はなおか・みさき)さん。



市長から協力事業所表示証の交付を受ける。

かつたため、合併により晴れて正式な
団員となりました。これを機に、第15
分団のラッパ隊にも入団し活躍してい
ます。

もともとトランペットをやっていた
こともあり、昨年のラッパ上田大会個
人の部で6位、上小個人で3位、上田
大会団体の部では2位という結果に
「分団の先輩が若い力を評価してくれ
たので、それにこたえられたと思いま
す」と、謙虚でありながらも胸を張り
ます。

「時間に余裕のある学生だからこそ、
できることもあります。地域活動とし
て学ぶべきことが多い消防団だからこ
そ、積極的にやるべきだと思います」と
いいながらも、昨年の山火事で30時
間にも及ぶ出動を経験し、「正直大変
でした。危険が伴うし、遠く離れて住
む親のことを考えると学生の無理な勧
誘はできないかなと感じましたね」と、

女性と若者の力が、 明日の消防団を支える。

これまでの活動を振り返ります。

蒲生さんは東京都の出身。ですがこ
の春から、市内の社会福祉法人への就
職も決まっています。「父方の祖母も
母も上田の生まれです。僕の血は半分
が上田。上田が好きなんです。一緒に
やる仲間がいるし、恵まれた環境に
います」と引き続き上田に住み、消防
団で活動することを決めました。



蒲生俊宣(がもう・としのぶ)さん。

地道な活動と華やかな舞台

冬。火を使うことの多い季節に、火
災防止を呼びかけ、厳しい寒さの中、
夜警活動をする広報車や団員が市内を
巡回しています。どんど焼きや花火大
会など、地域の安全の裏には消防団の
協力があります。

こうした啓発活動、予防活動のほか
にも、ポンプ操作などの日常の訓練が



海野町で行われる機械器具点検。昨年の消防出初式から。

平成20年上田市消防出初式

期日 1月20日

(主な内容)

- 11:30 プレイベント(トライアル隊)/海野町
- 12:00 伝統技能披露(太鼓、はしご乗り、まとい振初など)/旧一中跡地
- 13:05 機械機器点検/海野町
- 13:20 市中行進(大門町 海野町商店街 市役所前観閲 市民会館)
- 14:20 式典/市民会館

固 上田地域広域連合消防本部内 上田市消防団事務局

TEL26・0119

特集 地域とともに、仲間とともに

上田市消防出初式が盛大に開催され
ます。保育園児・幼稚園児の参加を見
守る保護者の皆さんや、頑張っている
お父さんの晴れ姿を応援する家族でに
ぎわいます。

「県下最大級の出初式じゃないかな
あ。伝統の、団員によるはしご乗り、
県下最多の消防車両パレードなど。と
にかく圧倒されますよ。ぜひ皆さんで
応援してください」。自然と矢島団長
も熱の入った口調になります。新春の
晴れ舞台に立つ、若き消防団員たちに
エールを送ってください。

結果をお知らせします

参加児童生徒数

小学校6学年1,500人、中学校3学年1,475人

調査の結果

「教科に関する調査」の上田市の結果は、中学校では全体として全国平均を上回りましたが、小学校においては、全国平均と大きな差はなかったものの学校間にばらつきがありました。

「生活習慣や学習環境等に関する調査」では、早寝早起きなどの基本的な生活習慣が、国と比べて身に付いている様子

や地域とのつながりを大切にしていることなどがわかりました。

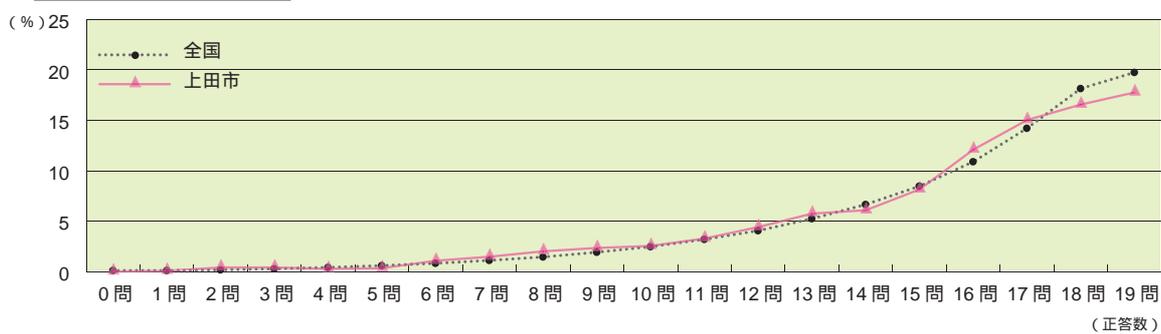
調査結果の概要について、調査内容ごとにまとめましたのでご覧ください。

これらの結果は、児童生徒全体の学力向上に結びつく施策を立案するために有効に活用していきます。

また、学校においてはそれぞれの分析結果を今後の指導改善に生かすことで、確かな学力の定着とそれを活用する力の育成に取り組んでいきます。

小学6年生 算数

算数A 知識についての正答数分布グラフ



知識の分野では、正答率は8割を超えていて国と同程度であり、学習内容はほぼ定着しています。

グラフを見ると、全体の正答数の分布も、国の分布曲線に沿っていて、ばらつきも少なくなっていますが、全問正答など上位の正答率がやや低

くなっています。

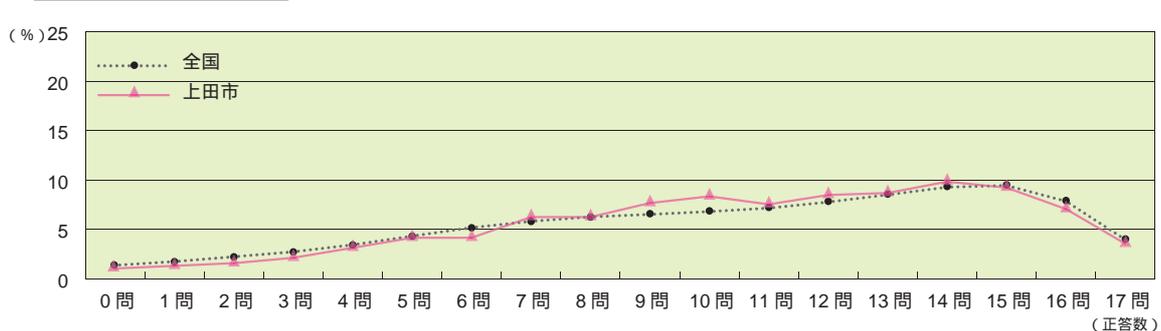
活用の分野では、正答率は6割を超えていますが、学校間にばらつきがあり、その結果、全体として国の正答率よりもわずかに下回っています。

たとえば、「 32×25 」の筆算を工夫

すると「 $8 \times 4 \times 25$ 」「 $8 \times 100 = 800$ 」と暗算でできますが、このような数学的見方考え方についての結果から、ドリルを繰り返して訓練するだけでは、活用の力がつかないことがわかります。

中学3年生 数学

数学B 活用についての正答数分布グラフ



知識の分野では、正答率は7割を超えていて国を上回り、学習内容はおおむね理解しています。また、内容別でもほとんどの問題で正答率が国を上回り、全体としておおむね定着していますが、「証明の意義につ

いての理解」「確率の意味理解」の二つの問題だけ国よりわずかに下回っています。上の分布グラフでも、国の分布曲線に沿っています。

活用の分野でも、正答率は6割を超えていて国を上回っています。ま

た、数と式、図形、数量関係のすべてで国の正答率を上回っています。

「算数・数学の勉強は好きか」「算数・数学の授業が分かるか」の調査で、小学校は国とほぼ同じ比率でしたが、中学校ではこの比率がかなり上回っています。算数・数学がよくわかり、好きになる児童生徒をさらに増やしていけるよう指導の改善を図っていきます。

平成19年度 全国学力・学習状況調査の

国は、学力問題をはじめとした学校教育の現状や課題について把握するため4月、「全国学力・学習状況調査」を実施しました。上田市も、児童生徒の学力の実態などを把握し指導の改善に生かすため、この調査に参加しました。10月末に示された結果の分析を進めてきましたが、このほどまとまりましたのでお知らせします。

なお、学力全体を測れるテストはありません。したがって、今回の調査結果が学力の特定の一部であることをあらかじめご承知ください。

上田市の調査結果の概要等
調査の概要

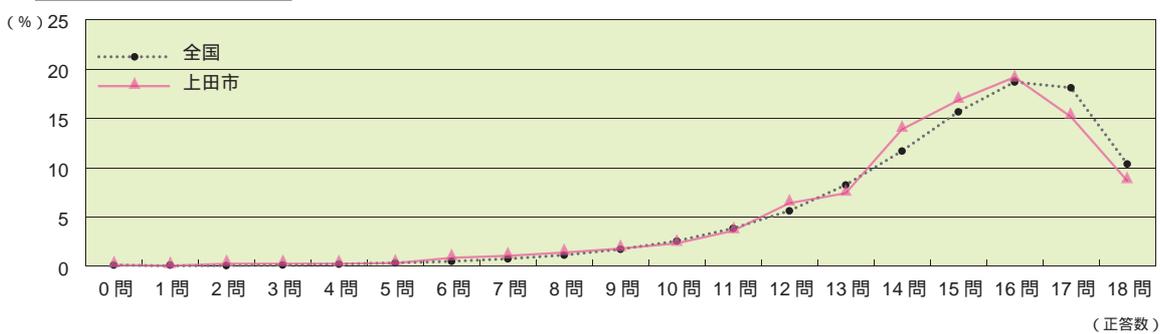
調査実施日 平成19年4月24日

調査内容

- ・「教科に関する調査」では、小学校6学年の国語・算数、中学校3学年の国語・数学について、それぞれ「知識」に関する問題(A)と、「活用」に関する問題(B)が出題されました。
- ・「生活習慣や学習環境等に関する調査」もあわせて実施されました。

小学6年生 国語

国語A 知識についての正答数分布グラフ



知識の分野では、正答率は8割を超えていて国と同程度であり、学習内容はほぼ定着しています。「読むこと」に関する問題に比べて、「話すこと・聞くこと」と「書くこと」に課題がみられます。漢字では、「協力」は書けていましたが、「焼く」「相談」

を書けなかった児童が多くいました。

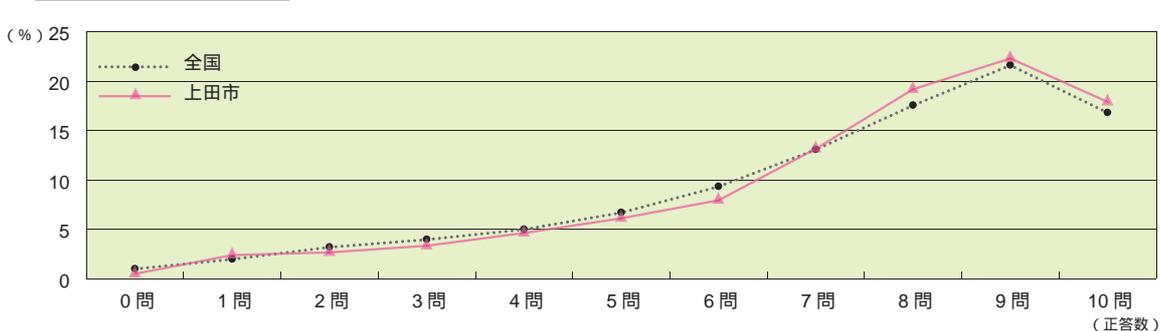
活用の分野では正答率は6割で、全国をやや下回っています。複数の文章や情報を関係的に読み取り、それをまとめて書くことに課題があります。読解力が基本となりますので、

この力を確実につけておく必要があると考えます。

グラフを見ると、知識の分野での正答数の分布が全国よりやや左寄り、この傾向は活用の分野でも同様です。

中学3年生 国語

国語B 活用についての正答数分布グラフ



知識の分野では、正答率は8割を超えていて国を上回っており、学習内容は定着しています。多くの問題で国を上回っていますが、目的に沿って話したり、適切に聞き取ったりする力や手紙の書き方にやや課題

が残ります。

活用の分野では、正答率は7割を超えていて、ほとんどの問題で国を上回っていますが、「読むこと」と「書くこと」の両方にまたがる問題には課題が見られました。

グラフを見ると、活用の分野で正答数多数の山が国より高くなっており、知識の分野ではさらにその傾向が強くなっています。

小・中学校とも「習った漢字を実生活で使おうとしているか」「相手や場面に応じた言葉づかいに気をつけているか」の調査では、あてはまると答えた割合が国を上回っていて、子どもたちの言語生活への前向きな姿勢がうかがえます。この姿勢が生かされるよう、さらなる指導の改善を図っていきます。

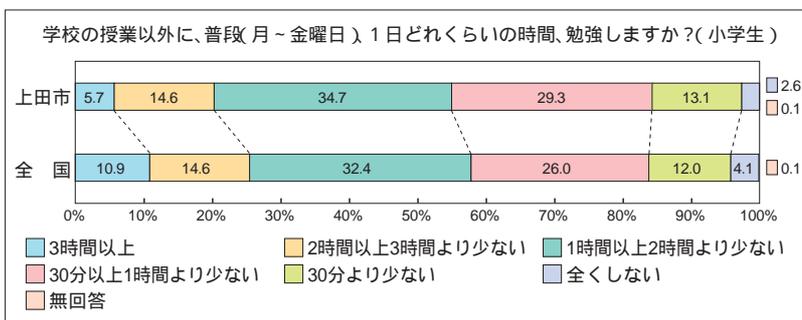
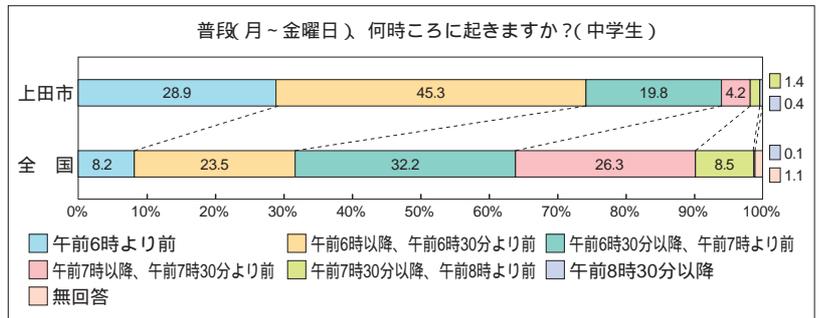
生活習慣や学習環境等に関する調査から

学力調査と同時に、子どもたちの関心や意欲、学習のしかた、また、家庭での生活の状況や地域との関係などについて調査が行われましたので、その結果の一部についてお知らせします。

基本的な生活習慣

小学生の半数は10時前に中学生の3/4は11時には就寝し、6時半前には起床しています。国と比べてはるかに早寝早起きです。

また、朝食も小中ともに9割が食べており、家族と一緒に食べる割合は、国より多く、家族だんらんの中で過ごしている様子が見えます。



家庭学習

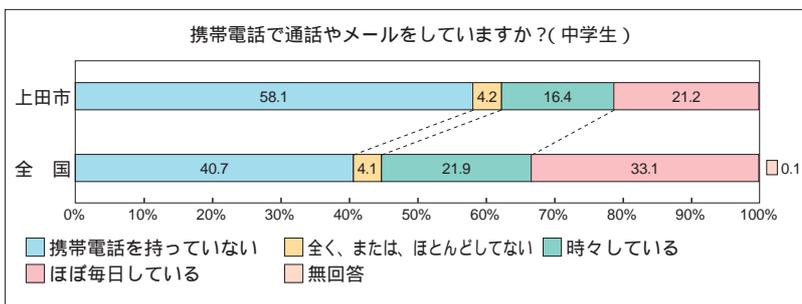
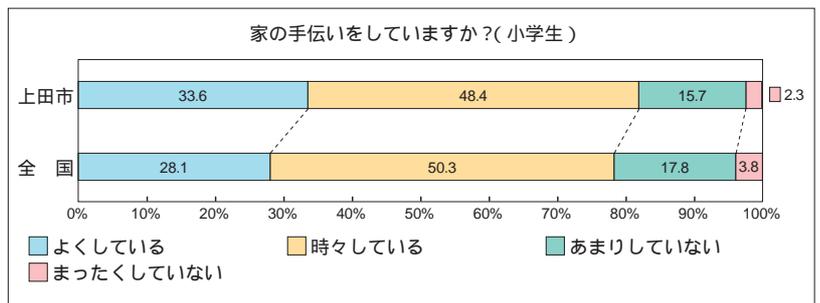
平日・休日の家庭学習時間をみると、まったくしない小学生は国より少ないが、3時間以上する小学生も、国より下回っています。中学生もほぼ同じ傾向を示しています。

家庭での予習復習も、大事な習慣として大切にしていきたいものです。

体験活動...小学生

家の手伝いをする、花や野菜を育てた経験がある児童は国より上回っています。

一方、魚や貝、昆虫をつかまえたことがない児童、生き物を飼育した経験のない児童がともに約2割います。自然環境に恵まれているので、遊びや自然体験活動などを増やしたいものです。



携帯電話...中学生

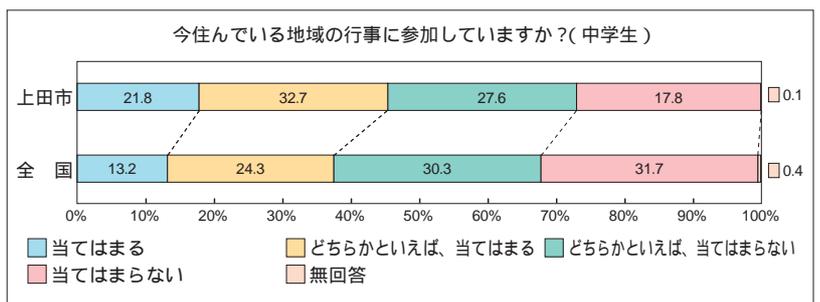
携帯電話を持っていない生徒は国より多く、ほぼ毎日使っている生徒は、国のおよそ2/3です。

携帯電話の所持率は国と比べて低いですが、その功罪についてはいろいろ論じられていますので、今後の課題になると考えています。

地域とのつながり

小・中学生ともに地域とのつながりが強く、地域との良好な関係の中で過ごしていることがうかがえます。今住んでいる地域が好き、また、地域の行事に参加したことがある小・中学生は、それぞれ国より2～3割近くも上回っています。別の調査項目でも、地域社会への関心・意欲面で国に比べてかなり高い状況にあります。

上田市では、地域の活動で子どもたちが健全に育っていることがわかります。



ありがとうございました!



学校と保育園の環境整備にご協力いただきました

☎ 教育総務課
TEL23・5100

毎年、小中学校や保育園などの環境整備では、保護者はじめ多くの皆さんにご協力をいただいています。本年度も、ボランティアとして地域の団体の方々には様々な作業を実施していただき、ご協力に深く感謝します。



「上小建設労働組合」 の皆さんによる樹木せん定作業など

11月18日、神川小学校と市内4保育園における組合員約40名の皆さんによる作業では、高所作業車も使って、日ごろから管理の難しい伸びた樹木の高枝などのせん定に加え、腐葉土の収納場所なども造成していただきました。各施設からは感謝の声が寄せられています。さらに、同組合青年部約10名の皆さんには、上田城跡公園内の清掃作業も行っていました。

「上田市上下水道事業協同組合」 の皆さんによる点検作業

11月20日、冬の凍結シーズンを前にして、市内小中学校14校で水回りの点検を行っていただきました。同組合に加盟する36社・約40名の皆さんによる、延べ200か所にのぼる給水栓の点検のほか、約90か所の水道パッキン交換や調整作業などにより、学校から「安心して冬が迎えられる」との声が寄せられました。こうした地域の皆さんの善意に支えられ、子どもたちも快適に学校・保育園生活を過ごせます。



第24回真田地域消費生活展 テーマ『こどもたちとのこそうふるさと真田の自然』を開催

日時 1月26日 午前10時～午後3時

場所 真田公民館(真田文化会館)

内容 消費者団体や真田地域内小中学校による、ごみ問題・食生活・健康などについて研究・学習した内容をパネル展示、消費生活に関する寸劇、リサイクルたい肥の無償配布など。展示即売会やフリーマーケットも同時開催します。

参加費 無料

☎ 市民生活課 TEL72・0154



お知らせ

Information A La Carte

点字シールで市からの郵便をお知らせします

市では、視覚障害のある方が市からの郵便であることがすぐにわかるように、封筒やはがきに「上田市・課名・電話番号」を記載した点字シールをはるサービスを始めます。

シールをはるものは、国民健康保険、介護保険、福祉医療、各種検診、市税・上下水道料金の通知や、選挙入場券などです。

このサービスをご希望の方は、2月8日までに市役所福祉課または、各地域自治センター健康福祉課に、電話などでお申し込みください。

- 市福祉課 TEL 23・5158
- 健康福祉課 TEL 42・1118
- 健康福祉課 TEL 72・2203
- 健康福祉課 TEL 85・2067

1月15日～21日は防災とボランティア週間

平成7年に発生した阪神・淡路大震災をきっかけとして、防災とボランティアの日(毎年1月17日)と、防災とボランティア週間が創設されました。皆さんも、今一度、自主的な防災活動やボランティア活動について考えてみませんか。災害ボランティアの登録も行っています。

日ごろからの備え

水・食料の確保 水は、飲料水だけでなく、いろいろな場面で必要になります。ふるの水は普段からはおきましよう。また、非常持ち出し袋に3日分ほどの食料などを用意しておきましよう。

揺れ対策 家具の転倒防止、窓ガラスの飛散防止の措置をしましよう。

災害に備えた家族会議 避難場所やブロック塀などの危険か所のチェック、非常時の連絡方法などを話し合いましよう。

地域の連携の強化 普段から近所付き合いを大切にしましよう。災害時は地域の助け合いが重要です。

ボランティアについてのお問い合わせは、上田市社会福祉協議会(TEL 25・2629)まで。

- 危機管理室 TEL 23・5332
- 福祉課 TEL 23・5130

償却資産の申告はお済ですか

固定資産税の対象となる償却資産を所有する方は、毎年1月1日現在の償却資産の状況について、償却資産申告書を提出することになっています。申告書の必要な方や詳細については、市役所税務課家屋係までお問い合わせください。申告対象資産 土地及び家屋以

今月の表紙



おもちつきをしたよ!

12月14日、正ちゃん帽をかぶった上田幼稚園の年長児80名が、表敬訪問で市役所を訪れ、花と手作りペン立てをプレゼントしてくれました。

応対した森大和教育長らに元気な歌のプレゼントをした後、質問コーナーで「どうしたら市長になれるのですか?」「市役所の人は何時まで働いているのですか?」など、代表者が質問し、その回答に聞き入っていました。

「一足お先にお正月の準備ができました。幼稚園のみんなであつたおもちです」とみせてくれた鏡もちには、おもちと同じくらいの大きさのみかんが乗せられていました。

滅失登記をされた場合は提出が不要です。

- 市税務課 TEL 23・8240
- 市税務課 TEL 42・1029
- 市民生活課 TEL 72・0154
- 市民生活課 TEL 85・2827

催し

新春コンサート

心に響く歌声と思い出の曲を皆さんで歌いましょう!小根澤優紀さんの歌と木内貴大さんのピアノ演奏。新春にふさわしいフレッシュな二人に会いに来てください。

日時 1月31日 午後1時30分～3時

場所 市民プラザ・ゆう

対象 市内在住、在勤の方

参加費 300円(当日集金)
申し込み 市民プラザゆうへ電話
または、窓口で申し込んでくださ

家屋の取り壊し届け出は1月31日までに

平成19年中に家屋の全部または一部を取り壊した方は、1月31日までに「家屋取り壊し届出書」を提出してください。この手続はインターネット/ながの電子申請サービス/ <http://shinsei-nagano.lg.jp>)を利用して届け出もできます。

この届け出がないと、平成20年度以降も固定資産税が課税されることがあります。ただし、法務局に家屋

- 市税務課 TEL 23・8240

お知らせ

宝くじ助成金で女性消防隊の活動備品を購入しました

市では、日本消防協会が行う「女性消防隊による安全で災害に強い地域づくり推進事業」の助成を受け、女性消防隊の活動を支援する備品として軽可搬消防ポンプなど(2隊分)を購入しました。

現在、女性消防隊は市内に16隊が組織されており、「自分たちの地域は自分たちで守る」という基本理念のもと、防火・防災活動に活躍しています。

この助成事業は、宝くじの普及広報を目的として行われているもので、宝くじの収入を財源としています。



宝くじは、宝くじの下チカラ持ち。

宝くじは、広く社会に役立てられています。

☎危機管理室 TEL23・5332

「上田市特定健康診査・特定保健指導、後期高齢者医療制度説明会」を開催します。
平成20年4月から、40歳から74歳までの健康診査・保健指導の仕組みが変り、今まで市町村で実施していた従来の健康診査に代わり、メタボリックシンドロームに着目した「特定健康診査・特定保健指導」として、加入している医療保険者ごとに健康診査と保健指導を実施します。上田市では、国民健康保険加入者で対象となる方に向け、受診方法や内臓脂肪症候群・疾病予防の説明をします。あわせて、同時期に都道府県単位でスタートする「後期高齢者医療制

特定健康診査等・後期高齢者医療制度説明会

「上田市特定健康診査・特定保健指導、後期高齢者医療制度説明会」を開催します。

第23回健康の駅 上田
ドクターと栄養士による高血圧予防の無料勉強会です。
日時 1月19日 午後2時(受付1時30分)
場所 海野町丸陽ビル1階(無料駐車場あり)
講演会テーマ/講師 「高血圧症と腎臓病」/塚田修氏 上田腎臓クリニック(院長)
定員 先着40名(電話で要予約)
☎(株)丸陽(勝見) TEL22・2400

い。託児があります(2歳〜就学前程度・要予約)。
☎市民プラザ・ゆづ TEL27・2988

特別展

新春蘇民将来符展

信濃国分寺資料館では、信濃国分寺の八日堂縁日に分けられた江戸時代から現在までの蘇民将来符や全国各地の護符を展示した、新春蘇民将来符展を開催します。
蘇民将来符の由来が記された室町時代の古文書「牛頭天王之祭文」、江

戸時代の八日堂縁日の様子を描いた「八日堂縁日図」(いずれも市指定文化財)も期間中に特別公開されます。なお、1月7日は午後9時まで閉館します。大勢の皆さんのご来館をお待ちしています。
日時 1月4日〜2月3日 午前8時30分〜午後5時(休館日/毎週水曜日・祝日の翌日)
入館料 250円(市内在住の小中学生、高校生は無料)
展示説明会 1月13日・20日の午前10時、午後2時から各1時間程度職員が解説します(入館料が必要)。

☎信濃国分寺資料館 TEL27・8706

丸子金子図書館 おはなし会

雨宮ちよ子さんによるおはなし会です。
手作りお話の読み聞かせ、絵本の読み聞かせ、パネルシアターなどお楽しみに!
日時 1月19日 午前10時
場所 丸子金子図書館2階
☎丸子金子図書館 TEL42・2414

度(今まで老人保健で医療を受けてきた75歳以上の方や、一定の障がいのある方は65歳以上の方の医療制度)の説明も実施します。

日程/場所	時間
1月18日 武石公民館コミュニティホール	午後1時30分~3時
1月23日 中央公民館3階大会議室	
1月24日 丸子文化会館小ホール	
1月25日 西部公民館大ホール	
1月28日 城南公民館ホール	
1月29日 真田地域自治センター3階講堂	
1月30日 上野が丘公民館大ホール	
2月7日 川西公民館ホール	

☎国保年金課 TEL22・4100(内線1362)

第24回市民公開講座

日時 1月19日 午後3時～4時
 場所 長野病院1階エントランスホール
 演題/講演者 怖くない歯科治療について/宮澤英樹氏(歯科口腔外科医長)
 参加料無料、予約不要。市民の皆さんの参加をお待ちしています。

長野病院 TEL 22・1890

ふれあいさなだ館 新春民謡ショー

日時 1月16日 午後0時30分～
 場所 真田温泉ふれあいさなだ館 大広間ステージ
 内容 尺八と太竿の響き/竹韻の会
 入館料が必要です。

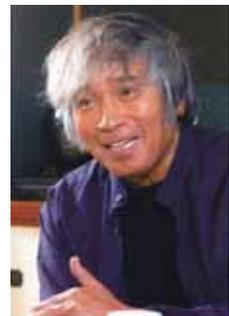
真田温泉ふれあいさなだ館 TEL 72・2500

新春文化講演会 2つの美術館で想いごと

日時 1月20日 午後3時～4時30分
 場所 上田文化会館大ホール
 演題 「2つの美術館で想いごと」
 講師 窪島誠一郎氏(信濃デッサン館・無言館館主、作家)
 入場料 無料(事前の申し込みは不要)

上田市文化芸術協会事務局 (市文化振興課内)

TEL 23・6361



窪島誠一郎氏

講座・教室

男女共同参画基礎講座

日時 1月26日 午後1時30分～4時
 場所 市民プラザ・ゆう
 内容 上田市男女共同参画推進条例制定1周年について、女と男うたえ市民の会パフォーマンス部会発表、講義「響きあい、共に生きるために、らいてうと博史の夫婦愛に学ぶ」講師/米田佐代子さん(らいてうの家館長)、意見交換
 定員 50名
 参加費 無料
 申し込み 1月16日 までに住所、氏名、連絡先を明記のうえ、郵便〒386・8555 上小地方事務所地域政策課県民生活係(あて、FAX 25・7129)、電子メール(josho-kenmin@pref.nagano.jp)でお申し込みください。

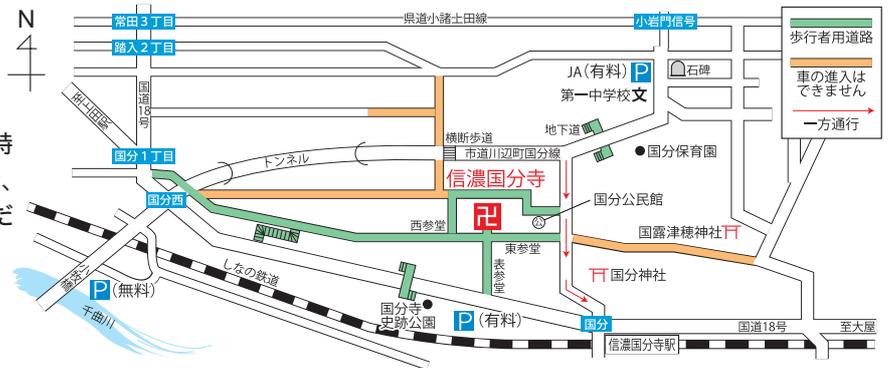
申し込み先: 上小地方事務所地域政策課県民生活係(あて、FAX 25・7129)

お知らせ

信濃国分寺・八日堂縁日で交通規制

規制日時 1月7日 午後1時～翌8日 午後4時
 当日は周辺道路が大変混雑しますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

上田観光コンベンション協会 (市観光課内) TEL 22・4100(内線1425)



< 広告欄 >

信州の四季を快適に暮らすパッシブソーラー
OMソーラーの家・エアサイクルの家
 自然の温もりをご体感ください!!



開館日 土曜日・日曜日
 am10:00～pm4:00

平日にお越しの方は、
 0268-27-6667 までご連絡ください。

美し信州建設株式会社
<http://www.sinshuu.co.jp>

施設イベント

An institution event

マルチメディア情報センター

TEL39・1000
URL <http://www.unic.jp/>

インターネット入門講座
インターネットを初めて体験する方のための講座です。概要とホームページを見るための操作を学びます。

日時 1月26日 13:30 ~ 16:00
対象 初心者 料金 1,500円
定員 各16名(要事前申し込み)

パソコン相談室

パソコンについて疑問に思ったことを一気に解消！使っていてわからないことなどあなたの質問にお答えします。

日時 毎週火・土曜日(休館日は除く)
10:00 ~、10:45 ~ 一人30分間
定員 各回2名
(前日までに要申し込み)
料金 無料

メディアランドUEDAビデオ上映会

日時 毎週日曜日と祝日 13:30 ~
内容 子どもだけでなく、大人も楽しめるお話を上映します。
定員 200名 料金 無料

デジタルアートグランプリ2007審査結果
今年のグランプリは、萩原大輔さんの
動画作品「金楽園」に決定しました。

市内の受賞者は、中・高生クラス入選 / 土方宏輔さん、箱田隼さん、小学生クラス優秀賞 / 片町守七さん、入選 / 金井美紗希さん、小山みずほさん、長野県教育委員会賞 / 伊藤美穂さんです。

そのほかの審査結果・作品は、HPをご覧ください。

< 広告欄 >

医療法人三折堂

宮下 医院

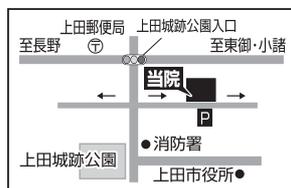
神経内科・内科・胃腸科

〒386-0023 長野県上田市中央西1-15-12

TEL 0268 (22) 4328 FAX (26) 8231

- 理事長/宮下美生 消化器病専門医(日本消化器学会認定)
- 院長/宮下暢夫 神経内科専門医(日本神経学会認定)

診療時間 午前 9:00~12:00
午後 3:00~ 6:00
休診日 土曜午後・日曜・祝日



神経内科

※初診の方はなるべく予約をおすすめします。

頭痛・めまい・しびれ・ふるえ・歩行障害・認知症などを来す脳神経系の病気を診断し、内科的に治療する科です。

主要設備

オープン型MRI、超音波検査装置(腹部一般、頸動脈エコー)、胃・大腸内視鏡、レントゲン、筋電図検査装置等

消費生活教室

メールやサイトを通じた架空請求・ネットオークションやネットショッピングに関する消費者トラブルは後を絶ちません。ネットのルールやマナー、危険性を正しく理解して、安全・安心にインターネットを利用しましょう。

日時 1月18日 午後1時30分 ~ 3時30分
場所 佐久市役所 8階講堂
演題/講演者 インターネットにまつわる消費者問題/弘中絵里氏
(インターネット消費者被害対策 弁護士事務局長・弁護士)
対象 一般消費者

託児希望は参加申し込みの際、あわせてお申し込みください。

上小地方事務所地域政策課
TEL 25・7113

受講料 無料

上田消費生活センター

TEL 27・8517

聞いて・得・エコ講座

私たちが日ごろ出しているごみは、どのように処理・リサイクルされているの? そのような疑問をお持ちの方のために、ごみの減量・リサイクルに関する連続講座を開催します。多彩な講座を受講して、あなたも環境にやさしいごみの達人になりませんか。詳しくは廃棄物対策課までお問い合わせください。

日時/講座内容
・第1回 2月5日 午後1時30分 ~ 4時 / 上田市のごみの現状、生ごみ減量の仕方
・第2回 同月12日 午後1時 ~ 3時30分 / プラスチックごみ処理施設見学

廃棄物対策課

上田クリーンセンター内) TEL 22・0666

・第3回 同月21日 午前10時 ~ 午後2時 / エコ・ッキング(材料費200円程度)
・第4回 同月26日 午後1時30分 ~ 3時30分 / 座談会(エコライフについて)、修了式
場所 上田クリーンセンター、エコ・ハウスなど
定員 30名程度(応募多数の場合)は先着順で締め切ります)
申し込み 1月24日 までに電話で廃棄物対策課へ。
全日程参加が原則ですが、各回の講座を単独で受講したい方はご相談ください。

お知らせ

上小スポーツレクリエーション祭「冬の部」
市民の森スケート場祭の開催

元オリンピック選手による模範滑走・初心者教室(先着・定員あり)、パン食い競走、パイプいす押し競走ほか楽しい体験イベントがたくさんあります。

とん汁の無料ふるまいも実施。可能な範囲でマイはし、マイおわんをお持ちください。

午前11時～正午まで仮装審査を実施!!思い思いの衣装でお越しください。診査結果実行委員会が審査し発表します。

日時 1月12日 午前9時30分～午後2時(スケート場は午前9時～午後4時30分まで開放)

場所 市民の森スケート場

入場料 無料(貸スケート靴は、一人1回300円)

駐車場 市民の森公園駐車場及び市民の森グラウンド(臨時駐車場)

危険防止のため帽子、手袋を着用してください。

問 市体育課内事務局 TEL23・6372



要約筆記ボランティア養成講座の受講生を募集

要約筆記とは聴覚に障がいのある方に、様々な情報を書いて伝える情報伝達手段の一つであり、そのために必要な知識や技術を学びます。聴覚に障がいのある方は、見学もできますのでお気軽にお越しください。

日時 1月26日、2月2日・9日・16日・23日、3月1日(全6回・土曜日)午前9時30分～午後3時30分(1時間の昼食をはさむ)

場所 ふれあい福祉センター

対象 市内在住、在勤の方で、要約筆記に興味、関心のある方。

定員 20名(先着順)

受講料 無料(ただし、テキスト代などは実費)

自治会新旧役員さん
応援パソコン教室

新旧役員の交代の時期になりました。パソコンで作ったデータ書類も一緒に引き継いでいますか?パソコンのデータ書類は地域の共有財産です。効率よく引き継ぎしてフル活用しましょう。

シリーズで、すぐ役立つ書類の整理から引き継がれたデータを、即活

持ち物 昼食持参
申し込み 電話で上田市社会福祉協議会内ボランティア地域活動センターまで。
募集開始 1月7日
上田ボランティア地域活動センター
TEL/FAX 25・2629

問 上田創造館 TEL23・1111

介護者の会なのはな

「食べることは栄養をとることだけでなく、心身ともに元気で過ごすために大切なことです。食欲が低下している方への調理の工夫と一緒に学んでみませんか。」

日時 1月21日 午前10時30分～午後2時

場所 上野が丘公民館

内容 調理実習、介護者同士の話し合い、茶話会、個別介護相談希望者)

対象 現在介護されている方または介護について学びたい方

持ち物 調理実習費(300円程度)、エプロン

申込締切 1月17日(材料準備)

< 広告欄 >

始めよう、君の受験勉強

大学受験	高校受験
高2生 クラス講座 (定員15名) 理系数学・文系数学・英語総合 高1生 クラス講座 (定員15名) 英語・数学 他に基礎学力養成講座(英語・数学) 個別講座 1講座4～6名限定	・新年度生募集 新小6、新中1、2、3年生クラス ・現中3 受験生募集 直前講座(3/1～3/10まで) 中3生「直前2ヶ月コース」

1月13・14日 センター対策テスト講座(60分テスト+50分解説)

上田BYSA 大学予備校 フリーダイヤル 0120-025-055
総合進学塾 FAX 0268(25)5719
日曜日も手続きご相談可能です (0268)25-5555 (上田駅より徒歩6分 中部電力西入) 長野県上田市中央1-6-19

はり・マッサージ refresh

施術院 **リフレッシュ 開院**

診療科目 / はり・マッサージ

はり	オイル・アロマコース
頭・手コース	全身整体コース
足裏コース	特製漢方オイルコース

診療・受付時間

◎マッサージ(予約優先)
月・火・水・木曜日 昼12:00～深夜12:00
金・土・休前日 昼12:00～午前2:00

◎はり(予約にて診療致します)
月・水・金曜日 昼12:00～午後3:00
※通院出来ない方(痛みでお困りの方)、往診も承ります。尚、診療時間外でもご相談下さい。

はり・マッサージ 各種

上田市中央2丁目20-9(2階)
施術院 **リフレッシュ** TEL(0268) 25-1236

のため必ず予約が必要です
高年齢者介護課
TEL 23・5140

募集

Information La Carte

第7回水中ウォーキング参加者募集

水の中の運動は、浮力の影響で足腰に負担が少なくできる運動です。この機会にぜひご参加ください。

日時 1月26日、2月2日・9日・16日・23日、3月1日・8日・全7回・土曜日(時間はいずれも午後2時～3時30分)受付午後1時30分)

場所 アクアプラザ上田
定員 先着30名

参加費 500円(初回のみ)
別途入館料が、毎回一般/600円、60歳以上/400円かかります(いずれも団体割引額)。

申し込み先 上田ウォーキング協会事務局(上田スター商会内 TEL 35・0246)に前日までに電話です。

健康推進課 TEL 28・7124

「つえだの四季」冬の部 写真コンテスト作品募集

入賞作品は年間を通じたコンテストの審査の対象となります。皆さんの

の応募をお待ちしています。

募集作品 市内における初日の出、道祖神・八日堂・節分会など冬の伝統行事、スキー・スケートなど市内の冬の風景を題材とした自作・未発表の写真で、四つ切サイズにプリントしたもの(四つ切ワイド不可、デジカメの場合はA4可)。一人5点以内。

募集チラシ 市役所商工課、観光課、各地域自治センターにあります。

応募締切 2月28日
応募先 市役所商工課、観光課
詳しくは募集チラシをご覧ください。

商工課、観光課
TEL 22・4100

(内線1442、1426)

小学生ドッジボール大会参加者募集

第9回上田市小学生ドッジボール大会に参加しよう!

日程 3月2日

場所 自然運動公園体育館
対象 市内在学の小学3～6年生の男女

参加費 1チーム/3000円
部門

3・4年生で編成した男女混合(男子のみ)の部
3・4年生で編成した女子の部
5・6年生で編成した男女混合

(男子のみ)の部

5・6年生で編成した女子の部
チーム編成 監督1名、正選手12名、交代選手8名までとする。

定数 先着50チーム(全部門合計)
競技方法 リーグ戦後上位チームで決勝トーナメントを行う(参加チーム数により変更あり)

応募方法 1月7日～2月8日までに所定の申込用紙に参加料を添えて体育課または丸子総合体育館、真田・武石各地域教育事務所までお申し込みください(定数に達し次第終了)。

体育課 TEL 23・6372

平成18年3月6日生まれのお子さん募集

市内在住で合併の日に生まれたお子さんを、広報つえだで紹介したいと思えます。ご応募ください。

秘書課 TEL 22・3435

おわびと訂正

広報つえだ12月16日号の8ページ、平成20年度分人札(見積)参加申請の受付の記事中、受付期間に誤りがありました。正しくは、1月4日～21日です。

また、21ページの1月の相談コーナー「ひきこもり相談」の会場は、市役所勤労青少年ホームです。訂正し、おわびします。

< 広告欄 >

1月からの入試 社会人枠で入学できます

長野医療衛生専門学校

言語聴覚士学科(4年) 音楽療法士学科(3年) 歯科衛生士学科(2年)
〒386-0012 上田市中心2-13-27 TEL 0268-23-3800

入試日	1/26(土)	言語聴覚士学科・音楽療法士学科 出願期間1/7(月)～1/21(月)
	2/16(土)	言語聴覚士学科・音楽療法士学科・歯科衛生士学科 出願期間1/28(月)～2/12(火)
	3/13(木)	言語聴覚士学科・音楽療法士学科 出願期間2/18(月)～3/3(月)

お知らせ 歯科衛生士学科は、平成22年度から3年制へ移行 今なら2年で卒業できます

長野救命医療専門学校

救急救命士学科(3年) 柔道整復師学科(3年)
〒389-0516 東御市田中66-1 TEL 0268-64-6699

入試日	1/26(土)	救急救命士学科・柔道整復師学科 出願期間1/8(火)～1/21(月)
	2/16(土)	救急救命士学科・柔道整復師学科 出願期間1/29(火)～2/12(火)
	3/8(土)	救急救命士学科・柔道整復師学科 出願期間2/19(火)～3/3(月)

一般入試 社会人入試 編入学試験

編入学試験
大学・短大等は、2年次より編入学ができます
(言語聴覚士学科・音楽療法士学科のみ)

資料請求
学校見学の申込み
入試について詳しい情報
お電話かホームページで
成田会 検索

ご意見をお寄せください

文化芸術振興に関する基本構想

意見募集期間 1月7日 ~ 21日

素案の閲覧 次の場所で閲覧できます。

市役所行政資料コーナー 各地域自治センター行政資料コーナー
文化振興課(教育委員会第二庁舎) 上田市ホームページ

意見提出方法 意見書には、住所、氏名、年齢、電話番号を記入して、次のいずれかの方法で提出してください(様式は自由)。

郵送 〒386-0025 上田市天神二丁目4番55号
上田市教育委員会文化振興課あて

FAX 23・6368

電子メール bunka@city.ueda.nagano.jp

☎ 市文化振興課 TEL23・6361

私たちの住む上田市には、様々な特色ある文化があります。今後、これらの文化的な資源を生かし、市民・団体・行政の協働と連携により、新生「上田市」として特色ある文化芸術の振興を図っていくため、市教育委員会では、「上田市文化芸術振興に関する基本構想」の策定に取り組んでいます。

現在、学識経験者や市民代表などで構成する「上田市文化芸術振興に関する基本構想策定委員会」へ策定について諮問しており、このほど中間答申がありましたので、その内容(素案)を公表するとともに、市民の皆さんからのご意見を募集します。

石井鶴三美術館が移設します

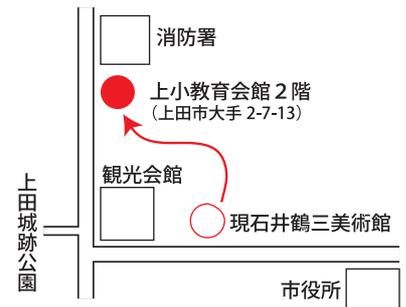
移設のため2月1日から3月31日まで休館し、4月1日から上小教育会館2階の作品展示室に移ります。

長年親しまれてきた旧上田図書館の建物の落ち着いた雰囲気を引き継いで、木造の趣のある講堂に移ります。移設後も、石井鶴三の彫刻、絵画、版画、挿絵、デッサンなどを引き続き公開していきます。



上小教育会館

石井鶴三は、半世紀にわたり上田で彫塑の指導にあたるなど、芸術をとおして信州の教育に大きな影響を与えた美術家・教育家です。



現在の場所での展示は1月31日までです。

入場料

大人・高校生 / 300円 小・中学生 / 100円

開館時間 午後10時 ~ 午後4時30分

休館日 月曜日、及び祝日の翌日

☎ 石井鶴三美術館 TEL24・9620

< 広告欄 >



あおやぎ眼科

AOYAGI EYE CLINIC

眼科各種手術 ●入院設備あります ●駐車場30台
(白内障・緑内障・網膜剥離術・硝子体切除術・眼瞼内反症・眼瞼下垂症 等)

〒386-0002 上田市住吉577
(マツヤ上田インター店前)

TEL.0268 (28) 6688

診療時間	月	火	水	木	金	土	休診日
午前9:00~12:00	×	○	○	○	○	○	日曜・祝日・月曜午前・土曜午後
午後2:30~5:00	○	手術	○	手術	手術	×	火曜午後(手術)・木曜午後(手術) 金曜午後(手術)

チケット好評発売中！

OSK日本歌劇団 スペシャル・ミュージカル

「真田幸村」～夢・燃ゆる～

「幸村の生きざまに思いをはせ、真田氏を見直す機会にしてほしいと思います」と記者発表に同席した母袋創一市長。

この公演のために新たに脚本を書き下ろし、OSK日本歌劇団が華麗に演じる創作ミュージカル。

講演師の旭堂南陵さんが舞台を盛り上げます。お見逃しなく！

上田城・大阪城友好城郭提携1周年記念事業、ミュージカル「真田幸村」。

12月11日、OSK日本歌劇団から主役「幸村」を演じる桜花昇さんと、茜(ツツジの精)役の朝香櫻子さんが駆けつけ、2月の上田公演の記者発表が大々的に行われました。

戦国を思わせる、甲冑姿で登場した桜花さんは、「幸村の本拠地での公演をつれしく思います。六文銭のごとくの覚悟で、日本一の兵を演じさせていただきます」と意気込みを話しました。

そして、朝香さんからのメッセージは、「たくさんの皆さんに観ていただきたいと思えます。2月の公演を楽しみにしています」。



【上田公演】

上田市民会館ホール

2月2日

16:00 ~ 17:30 (開場15:00)

2月3日

14:00 ~ 15:30 (開場13:00)

右が幸村役の桜花昇(おうか・のぼる)さん。
左は茜役の朝香櫻子(あさか・さくらこ)さん。
お二人の「サイン色紙と記念品」を当日来場された方に抽選でプレゼント。

入場料 前売 / 2,500円、当日 / 3,000円(1公演当たり・全席自由)

チケット取扱所 上田市民会館 / 上田文化会館 / 丸子文化会館 / 真田公民館 / 塩田公民館 / 川西公民館 / 武石公民館 / 教育委員会やぐら下庁舎教育総務課 / 教育委員会第2庁舎文化振興課 / 市役所2階上田観光コンベンション協会(観光課内) / 琴光堂楽器店 / 平安堂上田しおだ野店 / ほか市外8か所

主催 上田城・大阪城友好城郭提携1周年記念事業 OSK日本歌劇団 ミュージカル「真田幸村」公演実行委員会(上田市、上田市教育委員会、上田文化芸術協会、上田商工会議所ほか)

共催 大阪市、信濃毎日新聞社

問 同実行委員会事務局(上田市民会館) TEL22・0762

< 広告欄 >

上田市民の6.1人(件)に1人が加入しています!

生命共済 総合保障型

入院保障も 死亡保障も 充実!!

営利を目的としない助けあいの制度

- ① 共済金を真っ先に
何よりも共済金。お支払いを最優先にしています。
- ② コストは抑えて
経費を必要最小限にするため、低コストの運営に徹しています。
- ③ 剰余金は割り戻し
剰余金は割戻金としてご加入者へ公平にお戻ししています。

昨年度もムダなく健全に! 平成19年度も、掛金の日割増が共済金と剰余金に当てられました。

掛金還元率...80.97%
この部分をご加入者へ還元されます

口座振替取扱金融機関 八十二銀行 ゆうちょ銀行

※掛金の口座振替については上の金融機関からいずれか一方をご指定ください。
※ゆうちょ銀行の窓口ではお申し込みいただけません。【携帯サイトのバーコード】

ホームページでもご案内しています。資料請求もどうぞ。
http://www.nagano-kyosai.or.jp/ http://kyo-sai.jp/

元受団体/厚生労働省認可 全国生活協同組合連合会 http://www.kyosal-cc.or.jp/
SBCラジオ 県民共済提供「YES! 県民共済 聞いてなるほど」毎週日曜日18:05~(約5分間)放送

取扱団体/長野県認可 長野県民共済生活協同組合

市への質問や皆さんの疑問にお答えしていきます。ご質問やご意見などを市役所秘書課(TEL22・3435)へお気軽にお寄せください。

相染閣が新しくなるって？ ～あなたも名付け親!? 新相染閣の名称募集!!～



Q1 別所温泉にある相染閣が新しくなるって本当ですか？

A1 はい。現在、上田市では、古くなった社会福祉センター相染閣の移転改築工事を進めています。

Q2 どこに建てているのですか？

A2 旧別所小学校跡地に建てています。別所温泉駅から東側に、徒歩で1分くらいのところですよ。今までよりも敷地が広がりますので、広場もあわせて整備します。

Q3 いつごろオープンするのですか？

A3 平成20年春オープン予定です。楽しみに待っていてください。

施設が新しくなるのにあわせて新相染閣名称を募集します

有数の観光地でもある別所温泉にできる、日帰り温泉施設にふさわしい名称をお寄せください。

応募方法 郵便はがきに、(あなたの考えた)名称、住所、氏名、年齢、性別、電話番号をご記入のうえお送りください。入選された方には、記念品を差し上げます。

応募先 〒386-8601(上田市大手1-11-16)上田市健康推進課あて
応募締切 1月31日 当日消印有効

問合せ 健康推進課 TEL23・8244



正月7・8日に行われる信濃国分寺の八日堂縁日は、蘇民将来符やだるまなどを買い求める大勢の人でにぎわいます。国分寺は、八日堂という名で親しまれていますが、正月の縁日をはじめ、毎月八日に和尚さんがお経を上げることになっていたため、八日堂と呼ばれるようになってきたそうです。

今から1200年ほど前、朝廷は国ごとに国分寺を建てさせ、国家の平和を祈らせました。信濃国の国分寺は現在の史跡公園のところに僧寺と尼寺が建てられましたが、戦乱や災害で建物はすっかり姿を消してしまいました。

その後室町時代になって、人々の願いで信濃国分寺は再建されました。新しい寺は以前あった所よりも一段高い場所につくられ、三重塔もこの時に建てられました。現在、三重塔は国の



信濃国分寺二重塔

見聞録
こえだ

問合せ 文化振興課
TEL23・6362

食を大切にしている保育園

甘露保育園

親子料理教室での
おやつづくり

甘露保育園は、母体である上田明照会の社会福祉事業の先駆けとし、大正15年5月に託児所「甘露園」として鍛冶町に開所しました。開所以来80年の間、変わらずに多くの子どもたちの成長を見守っています。甘露保育園の今年度の保育目標は、集団の中で仲間と遊びこめる子をめざしています。社会が多様化して家庭的背景も様々ですが、0歳から6歳までの子どもたちが元気に過ごしています。園は街中にありますが、できるだけ自然に親しみ触れさせたいので、散歩へ行ったり、体育的な遊びを取り入れたりして体を動かす遊びをしています。そのほかには食育活動として、野菜の栽培、収穫をしたりその野菜を使って料理をし、食への興味や関心を高め、食べることへの感謝と命の大切さに気づき触れることができるよう活動にねらいを定めています。秋にはさつまいもの収

穫があり、そこから自分たちで作ったものを収穫できる喜びを感じたり、収穫したいもを使って親子料理教室を楽しみました。

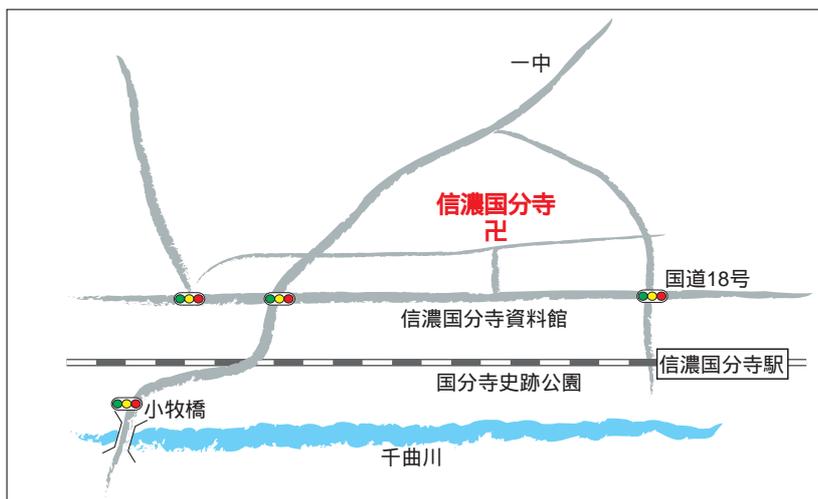
また、園は仏教に由来して「花まつり」や「成道会」といった行事があります。12月8日の成道会では年長児が劇をし、子どもたちが発表の場から自信を養ったり、「人に迷惑をかけない人になります」といった普段の生活に必要なことを理解したりし、将来の子どもたちの健やかな育ちに願いをこめています。

ここを卒園された方やその保護者の方が、今度は父母として祖父母として園とかかわりつながっていく。世代がかわっても子どもたちを取り巻き、温かいつながりがもてる保育園でありたいと思っています。



花まつりのお稚児行列より

EXPERIENCE UEDA



重要文化財に指定されています。堂々と落ちついた雰囲気この塔は、いくぶん強く反った三層の屋根が見事に空に曲線を描き、見る人の心をつかみます。一層目には如来像が安置され、その内部は彫刻なども高貴なものが使われ、赤や緑の色が塗られるなど、特別な場所であることがうかがえます。境内にはほかに国宝の本堂もあり、また、国分寺には蘇民将来符にかかわる資料など、貴重な文化財が多く残されています。八日堂縁日にお出での際は、ぜひこの三重塔をご覧ください。なお、1月7日は信濃国分寺資料館は夜9時まで閉館しますので、こちらもご利用ください。

12月1日に点灯式 上田天神灯の祭典

上田駅前お城口広場において、12月1日イルミネーションの点灯式が行われました。点灯式は、8回目を迎える上田天神灯の祭典のオープニングセレモニーとして開催されました。イルミネーションが点灯される



と、見物人から歓声があがりました。10万個の電球が駅前広場を彩ります。訪れた人は水車前広場周辺のイルミネーションを背景に携帯で記念撮影をしたり、カメラマナーが美しい光景を切り取るうとしていました。

アトラクションとして、信州プロレスや長州小力のショーや、うたえだNaviによる公開抽選会なども行われました。

10万個の電球は、協賛する企業から贈呈されました。イルミネーションは、1月31日まで、午後5時から午後10時まで点灯します。イルミネーションが照らす街は、一年を終え、新しい年を迎えます。

四つ葉

スケッチ



第21回丸子地域消費生活展開催

家庭から 豊かなエコの輪

消費者と生活環境問題、人権をテーマに、丸子地域消費生活展が12月2日、丸子文化会館小ホールで開催されました。丸子修



学館高校応用生物科の義仲桜の栽培研究や食生活改善推進協議会の食育紙芝居などの発表をはじめ、健康で明るい家庭や地域づくりを目指して活動している28団体が出展し、日ごろ取り組んでいる研究を発表し交流しました。

ごみの減量アイデアでみんなが快適に生活できるようにと、エコサポート21からは、生ごみをたい肥化させるピートモスト、もみ殻くん炭を混ぜた基材「ぱつくん」の紹介、丸子商店主集団「まるこトットコ会」では、丸子の商店街での買いいものを「eトコエコパック」してもらい、商店街を利用してもらうことへのお返しとして丸子公園に芝桜を植える計画の提案などユニークな展示に多くの人が足をとめていました。来場した子どもたちも、古布でつくった色鮮やかなお手玉やぞうりがかわいいと手にとっていました。

地域の安全を守ります！



上 田市消防団の小型動力ポンプ付軽積載車が新しくなり、12月6日、丸子地域自治センター駐車場ですから消防団へ配備する車両引渡式が行われました。今回更新された車両は、丸子第二分団と武石第二・第三分団の3台。武石地域の旧車両は、昭和62年から20年間にわたり地域の火災などの災害発生時に活躍してきました。



式典では、矢島消防団長から、より一層、地域の安全に努めます」という力強い言葉があり、参加した消防団員は気を引き締めていました。式典終了後、ポンプの操作方法の説明を受けた消防団員は、「簡単になった」「これは具合がいい！」と実際に放水操作をしながら話していました。

武石地域の消防団は、4月から上田市消防団第八方面隊として組織され、訓練や予防活動のほか武石夏祭りやともしびの里駅伝大会などにも参加し、身近な存在として活躍しています。車両もポンプも新しくなり、今後ますます頼りになる消防団として地域の安全を守ってくれることでしょう。

疾風真田中 六文銭の旗のもと



11月23日に第1回北信越中学校駅伝競走大会が松本平広域公園陸上競技場を発着するコースで行われ、真田中学校駅伝チームが男子の部で第3位の好成績を収めました。この大会の予選も兼ねた



第18回長野県中学校駅伝競走大会でも、第2位に入賞しています。駅伝チームは真田中学校に陸上部がないため、さなだスポーツクラブの陸上サークルで小学校時代から一緒に走ってきた仲間と結成されました。普段から陸上大会などに出場していたのは2名だけで、ほかの選手は毎日の部活動を終えた後に練習を積んできました。

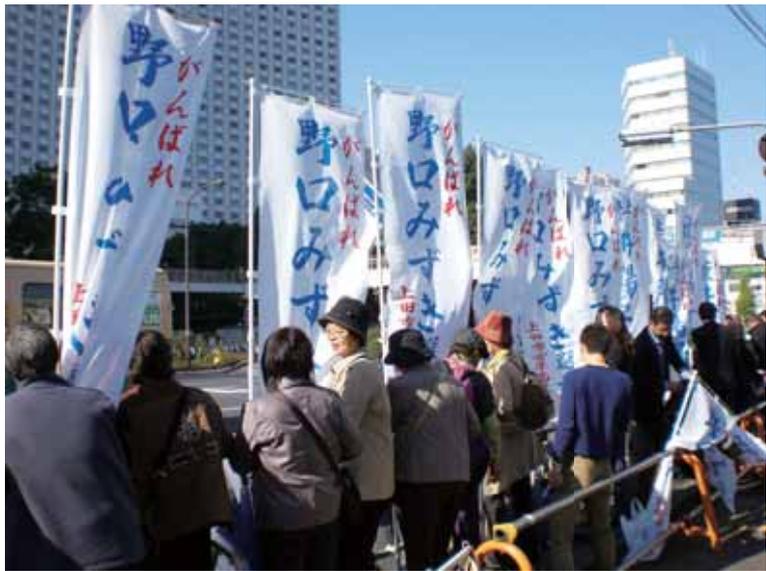
大会当日は応援の真田六文銭の旗が風になびくなか、選手一人ひとりが仲間を信じて、最後まであきらめずタスキをつなぎました。特に3年生は小学校からの練習の集大成という思いを胸にしての疾走でした。

レース後、選手たちは、指導にあたってくれたクラブのコーチや練習に付き添ってきた保護者とともに入賞の喜びを分かち合っていました。



塩田平秋の大空に虹
提供 / 深井行雄さん(富士山)

この日(11月11日)は、曇ったり晴れ間が出たり、秋雨がぱらついたりの日でした。上田城跡公園の紅葉を撮り帰宅途中、阿曾岡山の紅葉などを撮ろうと田んぼ中の農道に車を止めて市街地の方向に視線を向けたとき、山洋電気の五加工場の位置から虹が立っているのが確認できました。午後3時をわずか過ぎたところでしたが、虹を確認できたのは10分間くらいでした。外側にも薄く虹が写っています。数少ない自然現象ですね。右側後方の山は小牧山です。



野口みずき選手応援ツアーに参加して

提供 / 大日方孝さん(菅平高原観光協会事務局)
11月18日、東京女子国際マラソンに出場する菅平高原におなじみの野口みずき選手の応援に行きました。折り返し地点で、ポールを目一杯伸ばした白地にブルーの幟旗での応援は、沿線の人々の注目の的。報道カメラが先頭集団を追って首を振るとテレビ画面には見事6本の旗が映し出され、その前を野口選手らが疾風の如く駆け抜けました。「がんばれ～」と大声で声援を送ると同時に撤収し一路国立競技場へ。割れんばかりの声援の中、野口選手は国内3大会制覇を示す3本指を高々と我々に示しながらのゴール！前人未踏のオリンピック2連覇を宣言するダブルVサインとオーバーラップさせたのは私だけだろうか。

人の動き

(平成19年12月1日現在)

人口 : 161,121人 男 : 78,877人 女 : 82,244人 世帯数 : 61,496戸 外国人登録者数 : 5,547人 男 : 2,726人 女 : 2,821人